



# 2 避難時の心得

**心得 その1**



テレビ・ラジオなどに注意し、最新の情報を収集しましょう。

**心得 その5**



避難する際は、隣近所に声掛けてして集団で避難しましょう。

**心得 その2**

**警報に注意!**



市役所などの避難の呼び掛けに注意しましょう。

**心得 その6**



高齢の方や子どもなどの避難を手助けしましょう。(早めの避難が大切です。)

**心得 その3**

**リュック一つ!**



必要最小限の荷物で避難しましょう。

**心得 その7**



棒を使い、溝やマンホールに注意して歩きましょう。

**心得 その4**

**車はきけん!**



車での避難はやめましょう。

**心得 その8**



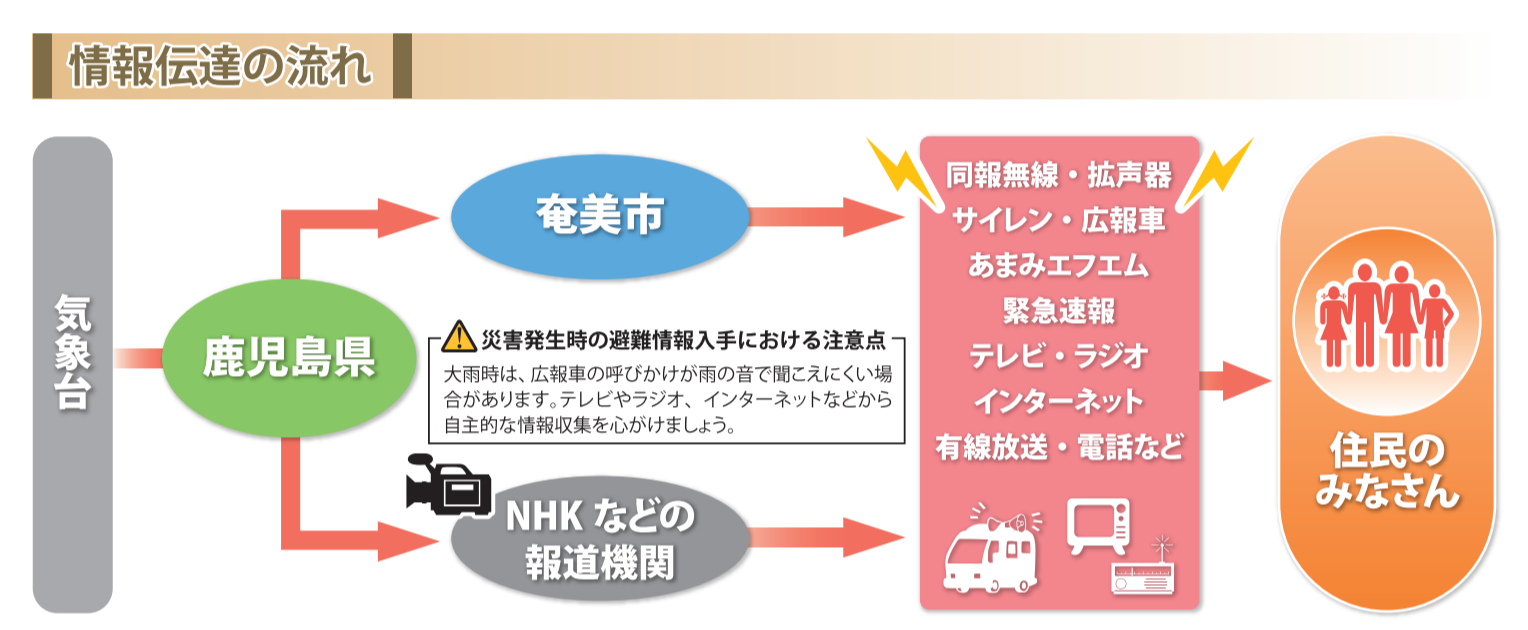
もしも逃げ遅れたら、近くの高くて頑丈な建物へ避難し、救助を待ちましょう。

# 4 避難情報について

### 市役所からの避難情報に注意しましょう

市役所は、市内で避難の必要性が高まった場合、その状況に応じて避難情報を発表します。情報の意味を理解し、落ち着いて、避難を開始しましょう。隣近所と声を掛け合い、市役所や消防、警察の誘導に従いましょう。

避難情報の種類	発令時の状況	住民に求める行動
<b>避難準備情報</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人的被害の発生する可能性が高まった状況です。</li> <li>特に避難行動に時間を要する人が避難行動を開始しなければならない段階です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常持出品の用意や家族との連絡など避難準備を開始してください。</li> <li>特に避難行動に時間を要する人は、計画された避難所への避難行動を開始してください。</li> </ul>
<b>避難勧告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況です。</li> <li>通常の避難行動ができる人が避難行動を開始しなければならない段階です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画された避難所などへの避難行動を開始してください。</li> <li>避難する際は、隣近所へ声掛けてください。</li> </ul>
<b>避難指示</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前兆現象の発生や、現在の切迫した状況から、人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難勧告などの発令後で避難中の人は確実な避難行動を直ちに完了してください。</li> <li>直ちに避難行動に移るとともに、逃げ遅れた場合は近くの高くて頑丈な建物へ避難してください。</li> </ul>



# 5 気象情報について

		大雨 / 洪水警報 雨量基準	大雨 / 洪水注意報 雨量基準
笠利町	平坦地	3時間雨量 110mm	3時間雨量 70mm
	平坦地以外	1時間雨量 60mm	1時間雨量 40mm
名瀬		3時間雨量 120mm	3時間雨量 80mm
住用町		1時間雨量 80mm	1時間雨量 50mm

奄美市は警報・注意報発表では「奄美地方北部」に類する。

### 1時間の総雨量と雨の強さ

雨量	雨の強さ	被害状況
10~20mm未満	やや強い雨	ザーザーと降る。地面に水がたまりができる。
20~30mm未満	強い雨	どしゃ降り。傘をさしてもぬれる。ワイパーを速く長く回す時注意が必要。くしゃみも見づら。
30~50mm未満	激しい雨	バケツをひっくりかえしたように降る。道路が川のようになる。
50~80mm未満	非常に激しい雨	滝のように降る。水しぶきであたり一面が白くなり、視界が悪くなる。
80mm以上	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。

### 風速と風の強さ

風速	風の強さ	被害状況
10~15m/s未満	やや強い風	風に向かって歩みにくくなる。傘が飛ばされる。
15~20m/s未満	強い風	風に向かって歩けない。転倒する人も出る。小枝が折れる。取り付けの不完全な看板やタタン板が飛び始める。
20~25m/s未満	非常に強い風	しっかりと身体を確保しないと転倒する。鋼製シャッターが壊れ始める。風で飛ばされた物が窓ガラスを割れる。
25~30m/s未満	非常に強い風	立ってられない。屋外での行動は危険。ブロック塀が壊れ、取り付けの不完全な屋外装材がはがれ、飛び始める。
30m/s以上	猛烈な風	立ってられない。屋外での行動は危険。屋根が飛ばされたり、木造住宅の全壊が始まる。

# 3 非常持出品

災害に備えて非常持出品を準備しましょう。確認したら  を入れましょう。

<b>避難用品</b> <input type="checkbox"/> ヘルメット <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 雨ガッパ <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 笛 など	<b>情報機器</b> <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> 充電器 など	<b>貴重品</b> <input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 預金通帳 <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 家族の写真 など
<b>救急セット</b> <input type="checkbox"/> キズ薬 <input type="checkbox"/> ばんそうこう <input type="checkbox"/> 包帯 <input type="checkbox"/> はさみ など	<b>非常食</b> <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 乾パン <input type="checkbox"/> 缶詰 など	<b>生活用品</b> <input type="checkbox"/> 衣類 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 缶切り <input type="checkbox"/> ナイフ <input type="checkbox"/> 予備電池 など

**その他・・・**

家族構成に合わせて  
ここで挙げたリストの他にも、ご家族に乳幼児、妊婦、要介護者がいる場合、おむつ、母子手帳や常備薬(薬を常時服用している方は処方せんのコピーもお忘れなく) などが重要です。ご家族で話し合って、必要なものを下の覧に書いてみましょう。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

# 6 土砂災害の種類

大雨や台風、地震が発生したときには、地盤がゆるみ「土石流」や「地すべり」、「がけ崩れ」といった土砂災害を引き起こす可能性があります。土砂災害から身を守るためには、まず自分の家の周りに危険がないか確かめることが重要です。

### 土石流

谷や斜面に溜まった土・石・砂などが水と一緒に一気に流れ出す現象。

**土石流の前兆**

- 山鳴りがする。
- 川の流れがにごり、流木が混じりはじめる。
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。
- 腐った土においがする。

### 地すべり

比較的緩やかな斜面で地中の粘土層などがゆっくり動き出す現象。

**地すべり前兆**

- 沢や井戸の水がにごる。
- 斜面にひび割れができる。
- 斜面から水がふき出す。
- 家や擁壁に亀裂が入る。
- 家や擁壁、樹木や電柱が傾く。

### がけ崩れ

地中にしみ込んだ雨水で柔らかくなった土砂が斜面から突然崩れ落ちる現象。

**がけ崩れの前兆**

- がけに割れ目が見える。
- がけから小石がバラバラと落ちてくる。
- がけから水が湧き出ている。
- がけから木の根が切れる音がする。

# 7 災害時の伝言サービス

地震、洪水などの大規模な災害時には電話、携帯電話やスマートフォンで利用する「災害用伝言ダイヤル」、「災害用伝言板」が開設されます。

### 災害用伝言ダイヤル

災害用伝言ダイヤルは、「声の伝言板(安否情報)の役割をする電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間で、伝言の録音・再生をすることができます。

「171」をダイヤルし、ガイダンスに従って伝言の録音・再生をしてください。

171 番にダイヤル  
案内が流れます

<b>伝言を録音する場合</b> 伝える場合 <b>1</b> 録音の案内が流れます 市外局番 - 被災した家の電話番号 被災地の人は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の人の電話番号を市外局番から入力 <b>伝言を吹き込む</b>	<b>伝言を再生する場合</b> 聞く場合 <b>2</b> 再生の案内が流れます 市外局番 - 被災した家の電話番号 <b>伝言を聞く</b>
---	--

### 災害用伝言板

災害用伝言板はメッセージの伝言板(安否情報)の役割をする携帯電話・スマートフォンサービスです。被災地域に居住または滞在中の方が、自身の状況を登録でき、登録された安否情報はインターネットなどを通じて確認できます。

災害用伝言板へのアクセスには1メッセージあたり1分かかる場合があります。

**安否情報の登録**  
伝言の安否情報などを入力します。

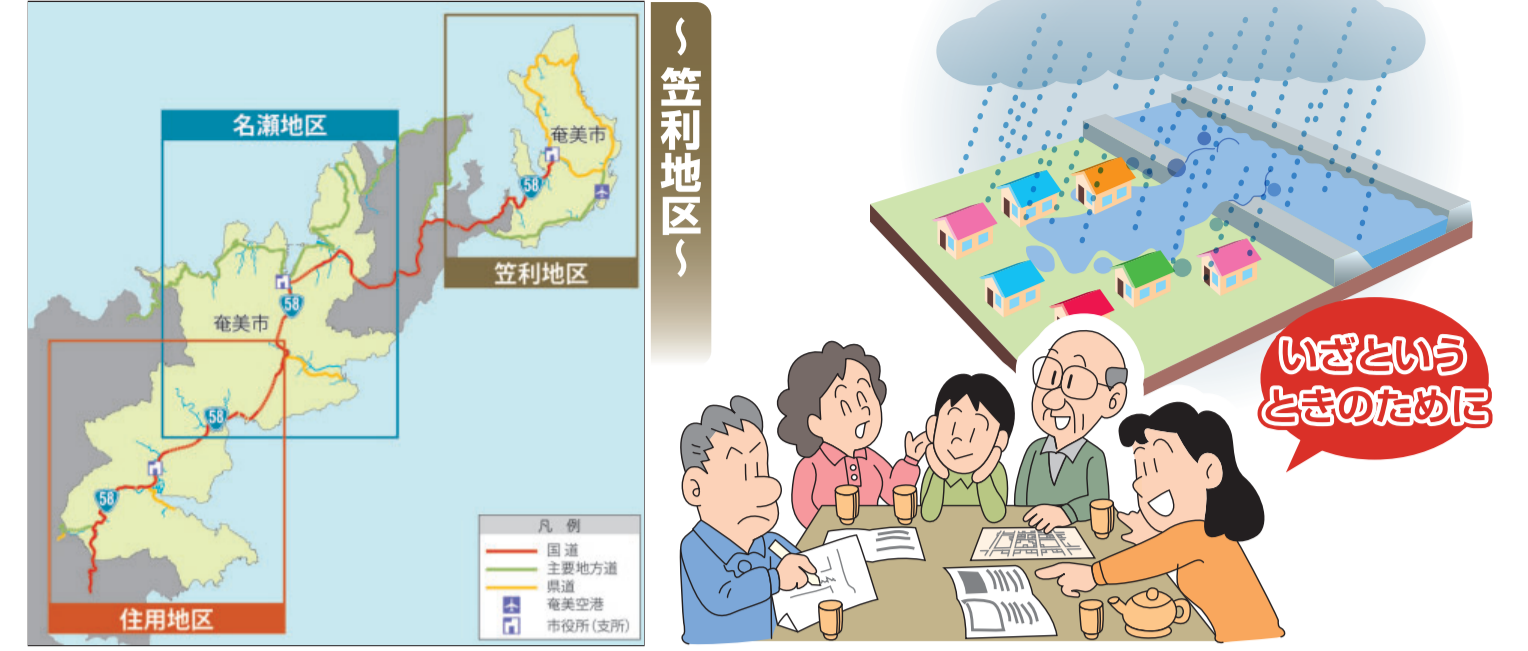
**安否情報の確認**  
安否情報などを確認したい相手の携帯番号を入力して検索します。

### 実際に避難経路を歩いてみましょう

**机上**  
 +自宅や学校、職場などを探してみましょう。  
 +自分の地区の避難所を見つけてみましょう。  
 +避難経路を想定してみましょう。

**現地**  
 +マップを片手に、実際の避難経路を歩いて、距離感や時間を知り、途中で危険な箇所が無い、逃げ込めそうな場所はあるかなどを調べてみましょう。

# 奄美市ハザードマップ



この地図は、はん濫および土砂災害が発生した際に、被害の発生が想定される範囲と、避難所や避難行動に役立つ情報をわかりやすくまとめたものです。

- この地図について...
- ①浸水範囲の表示について  
平成22年10月の集中豪雨など、過去に発生した洪水によって浸水した範囲を示しています。
  - ②土砂災害危険箇所について  
土砂災害による被害のおそれがある箇所を示しています。(実際の土砂災害の発生や被害の範囲と必ずしも一致するものではありません。土砂災害危険箇所以外の範囲でも土砂災害が発生する恐れがあります。)
- このマップを利用して、日頃から洪水や土砂災害に対する備えをしていただき、いざという時に安全な避難行動をしていただきますようお願いいたします。

### 緊急時の連絡先

奄美市役所笠利総合支所	0997-63-1111	南海ガス	0997-52-3511
大島地区消防組合笠利消防分駐所	0997-63-1999	N T T	113
奄美警察署	0997-53-0110	0120-444-113	(携帯・PHSからは)
九州電力奄美営業所	0120-986-808		

### 最新の気象情報・雨量情報はこちら!

奄美市防災情報	<a href="http://www.city.amami.lg.jp/amami11/default.asp">http://www.city.amami.lg.jp/amami11/default.asp</a>
鹿児島県災害・防災気象情報	<a href="http://kagoshima.bosai.info/">http://kagoshima.bosai.info/</a>
鹿児島県道路通行規制情報	<a href="http://www2.pref.kagoshima.jp/dourokisei/">http://www2.pref.kagoshima.jp/dourokisei/</a>
鹿児島県土砂災害発生予測情報システム河川情報システム	<a href="http://www.doboku-bousai.pref.kagoshima.jp/bousai/index_menu.html">http://www.doboku-bousai.pref.kagoshima.jp/bousai/index_menu.html</a>
気象庁	<a href="http://www.jma.go.jp/jma/index.html">http://www.jma.go.jp/jma/index.html</a>

### 目次

- 1 わが家の避難所・避難経路
- 2 避難時の心得
- 3 非常持出品
- 4 避難情報について
- 5 気象情報について
- 6 土砂災害の種類
- 7 災害時の伝言サービス

# 1 わが家の避難所・避難経路

**わが家の防災メモ** あらかじめ記入して家族みんなが分かるところに保管しましょう。

<避難所>

<家族が離ればなれになったときの集合場所>

名前(家族・知人など)	緊急時の連絡先	電話番号	メモ(血液型など)

**避難所、避難経路の確認** 自分の地区の避難所はどこなのか、そこへできるだけ川や橋を越えず安全に行くためには、どう行けばいいのかを、地図に描いて確認しましょう。

